

～これからどうする？わたしたちの男女共同参画～

男女平等 EXPO 高岡 2013 を 10 月 27 日（日）に開催しました。
今年度は、地域における男女共同参画をどう進めていくかについて、講演とトーク&トークを行いました。

いま、子ども、孫にバトンタッチしたい地域社会とは

講師：船橋 邦子さん
(元和光大学人間関係学部教授・北京 JAC 代表)



<講演>

- 「川上の活動」（政策提言等）と「川下の活動」（日常的な地域で支援活動等）との双方が大事。
- 地域においてもグローバルな視点を持って活動すること。
- <3.11以降の活動から学んだこと>
- 被災地では、男性は有償労働として瓦礫処理、女性は無償労働として炊き出しなど。男性は経済活動、女性はボランティアという性別役割分業が明確に。
- 平時時での男女格差をなくす取り組みが大事。
- 女性は必ずしも弱い保護される対象ではなく、女性が防災や復興に貢献してきた役割などを正当に評価し、主体として位置づけることが国際的な動き。
- 持続可能な地域社会は、安心して安全に子どもを生めるような社会。そのためには、女性が災害復興の担い手、主体でなければならない。そして、あらゆる政策決定過程のなかに、女性の声が反映されなければならない。
- 経済優先であった社会を、男女共同参画の視点をもって地域から声をあげなければ。
- 責任をもって未来の世代に、きちんと自分が応答できる生き方をしているか、ということが今、問われている。

トーク&トーク

浦田 一郎さん (佐野地区自治振興会長)
本江 学さん (市 PTA 連絡協議会副会長)
宮田 隼さん (コミュニティハウスひとのま共同代表)

<アドバイザー>

船橋 邦子さん

<コーディネーター>

向 富士子さん
(高岡 DV 被害者自立支援基金バサバ代表)



- 単位自治会の女性会長の割合は 1%。今後の地域ニーズの変化にとまじり、従来の体制でいいのか検討が必要。やりやすい規模のところからでも女性リーダーを。
- いろいろな手段で女性の参画を進める雰囲気を作っていくことが大事。諸団体が足並みをそろえ、男女を問わず登用を進めていけばよい。
- 枠組みを作るだけでなく、「みんなでする」という意識が大事。性別、障がい、国籍など関係なく一緒にするというのを考えていくべき。
- 全国の JA では女性登用の数値目標を設定するとともに、女性たちが意見を言える場を拡充していくことが大事と改革を進めている。こういった方法もやりかたの 1 つ。

総合司会 室谷 弘子さん
(男女平等 EXPO 高岡実行委員)



女性に対する暴力をなくす運動

11月12日(火)～25日(月)

夫、パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、人権を著しく侵害するものです。女性に対する暴力の根絶を目指し、内閣府その他の男女共同参画推進本部構成府省庁が主催する「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせて DV に関する展示・講座を行いました。



平成 25 年度女性に対する暴力をなくす運動ポスター (内閣府)

◆DV 予防、啓発のためのパネル展示
会場：男女平等推進センターサロン
協力：高岡 DV 被害者自立支援基金バサバ
(11月12日～12月1日)



パープルリボンは「女性に対する暴力をなくそう」ということ象徴で、サロンに来られた多くの方々に、展示してある T シャツにリボンをつけていただきました。

◆DV 被害者支援のための研修
- 知的に課題のある人の支援について学ぶ -

(10月17日開催)

講師：田口 道子さん (売買春問題ととりくむ会事務局)

女性差別と障がい者差別の二重の差別の中で、きちんと理解して支援することを学ぶ研修を開催。

主催：(一社) DV エキスパートセンター
共催：高岡市

◆デート DV 予防啓発リーフレットの配布

市内の全高校 1 年生を対象に、リーフレット「デート DV を知っていますか？」を配布。



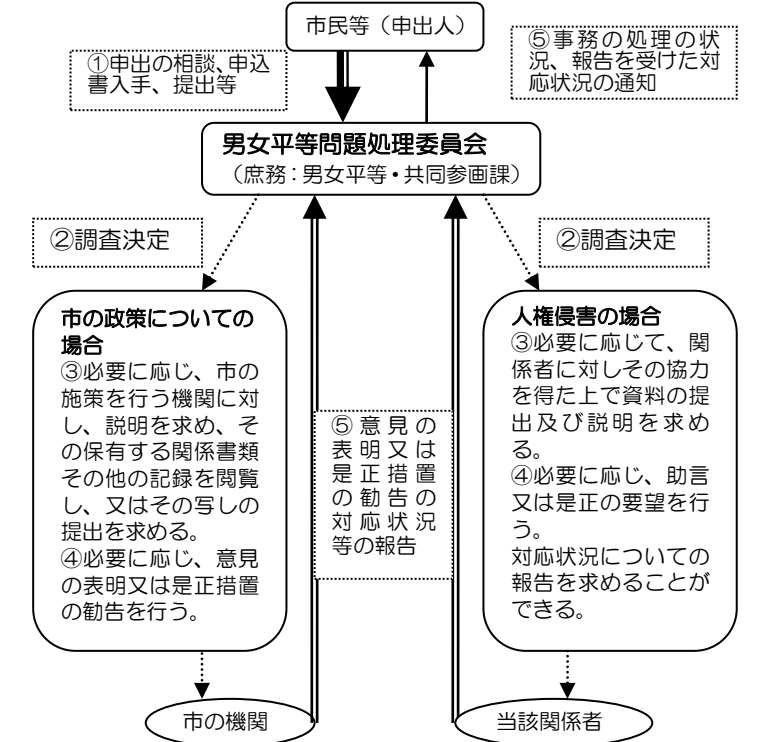
高岡市男女平等問題 処理委員会委員の委嘱

市の男女平等・共同参画の推進に関する施策等に苦情がある場合、性別による差別的取扱いその他、男女平等を阻害する要因により、人権侵害の問題が生じた場合に、市民や事業者等の皆さんからの申出を受け、公正・中立的な立場で適切、迅速に処理を行うため、高岡市男女平等問題処理委員会を設置しています。

11月21日(木)に、高岡市役所で委員への委嘱書の交付を行い、弁護士の入江佑典さん、人権擁護委員の吉川佳子さんを新任し、富山大学人間発達科学部学部長の神川康子さんを再任しました。
任期は平成 27 年 10 月 31 日までです。



◆処理などの概要



講座を開催しました

さわやかな自己表現 ～アサーティブネス・トレーニング講座～



- 第1回 9月29日 アサーティブネスとは
- 第2回 10月6日 NOを言おう!
- 第3回 10月13日 自分の気持ちを伝えよう
- 第4回 10月20日 “わたし”の自己表現

「ウィメンズカウンセリング富山」をファシリテーターに、自分も相手も尊重する対等なコミュニケーションについて考え、演習やロールプレイ(役割劇)を通して、自分の気持ちを率直に表現することを学びました。

〔受講者の感想〕

- ・自分も相手も大切にされる権利があると知った。
- ・いろいろな生き方、選択ができるのに、今までは固く、狭く生きてきたと感じた。
- ・どういう人としても、本当は対等な関係なのだ知った。

市民企画講座 子育て応援講座 子どもとの付き合い方を知って子育てを楽しもう

第2回 10月26日 聴こうよ!子どものはなし
相手の話を聞くとときの基本態度や、共感することの効果について学びました。

第3回 11月16日 伝えよう!親の気持ち
アサーティブな会話や、子どもを褒める事の効果について学びました。

講師：南雲 陽子さん (新潟薬科大学臨床准教授)
企画：オリーブ



〔受講者の感想〕

- ・子どもにもっと愛が伝わるように、学んだコミュニケーションスキルを磨いていきたい。
- ・子どもに求めすぎないで、たくさん褒めたり、お礼をしたい。
- ・言葉は、伝え方で良くも悪くもなることに気づいた。

市民企画講座 コミュニケーションカUP講座 コミュニケーションスタイルのタイプ分けを体験しよう

開催：11月9日
講師：青木 幸徳さん ((一財)生涯学習開発財団認定コーチ)
企画：コーチングサロン ゆう



コミュニケーションタイプは4つのタイプ(統率型、企画型、分析型、協調型)に分けられ、チェックシートを使って自分がどのタイプであるかを知り、それぞれのタイプが、周囲とのコミュニケーションを円滑にする方法を学びました。

〔受講者の感想〕

- ・初対面の人のタイプ別を知って、関わり方を変えるようにしたい。
- ・タイプ別の対応を実践することで、もっと気持ちよく仕事ができると思った。
- ・徐々に安心感を感じた。
- ・自分自身の再確認ができた。